

団体情報	
団体番号	5
団体名	邦楽部
所属人数（前年度）	18

※この報告書は、学生支援課のHPを通じて学外にも公開されるとともに、サークル棟の継続使用の判断材料として利用されます。

別紙の記入要領を参照の上ご記入ください。

活動報告	活動目的	団体の結成目的や活動の目的・目標などを記載してください。 当邦楽部は、箏・三味線・尺八を用い邦楽および邦楽器に触れ、日本の伝統音楽の良さを知る。また、音楽活動を通じて技術の向上や表現力の向上に努め、演奏会を通じ、日本の伝統音楽を多くの人に伝えることを目的とする。
	活動内容	I. 前年度の活動内容について記載してください。 ①通常の活動 当邦楽部は潤沢な資金がない中で、外部のスタジオではなく大学内の部室を最大限に活用し、7月には七夕演奏会を開催した。12月には大学の枠を飛び出し、地元の公民館を会場として借用して定期演奏会を開催した。それぞれの楽器を担当する部員の数も限られる中、三弦・尺八・箏という異なる楽器のバランスを取るため、各自の練習時間を効率化し、毎週行っている外部の指導者による演奏指導や合同練習では、1音1音の調和に集中し、より良い演奏となるよう工夫した。邦楽は敷居が高いというイメージを払拭するため、広報についても工夫した。大学の地域創生に関する講義で学んだ、ターゲットの生活に合わせた情報の発信という視点を生かし、学生が日常的に目にする学内掲示での広報に加え、外部の邦楽に興味がある方々にも注目してもらうことを意識したSNSでの発信を行った。邦楽への心理的ハードルを下げるアプローチを実践した結果、前年度の七夕演奏会や定期演奏会よりも多くの観客を動員することができた。 ②社会や地域貢献活動 12月の定期演奏会では地元の公民館を会場として選定したことにより、普段大学と接点のない地域住民の方々へ邦楽を届ける機会を創出した。生で聴く機会が減少しつつある邦楽の音色を地域に届けることで、伝統音楽をより身近に感じてもらうことができた。実際に演奏会に参加された方には、「初めて生で邦楽を聴いたが素敵な演奏だった」などの感想をいただいた。 ③その他アピールできること 部員不足や限られた予算という制約を言い訳にすることなく、どうすればより良い演奏会にすることができるかということをメンバー全員で話し合った。このような経験から、部員一人ひとりに課題解決能力や企画力、さらに限られた環境で改善していく主体性が身につき、精神的な成長につながった。   II. 活動実績（大会、コンクールなどの実績を記入してください。） ・七夕演奏会 ・定期演奏会 ・第71回 中・四国国立大学連合演奏会

			金額（円）	備考（内容等）
収支報告	収入	繰越金	¥27,023	
		入部(会)金	¥0	0円／人（年額）
		部(会)費	¥128,000	8,000または、 16,000円／人（年額）
		サークル援助金（学推会より）	¥21,000	
		活動・イベント収入	¥0	
		寄付金	¥5,000	松江邦楽連盟様
		スポンサー収入	¥0	
		その他	¥0	
		収入合計	¥181,023	
	支出	備品等購入費	¥10,193	箏・三絃用備品
		施設等利用料	¥0	
		大会等参加費	¥0	
		広報活動費	¥4,230	演奏会パンフレット制作
		交際費	¥2,816	OBへの贈り物
		交通費	¥0	
		その他	¥105,500	外部講師へのレッスン代
		支出合計	¥122,739	
	差引収支		¥58,284	次年度への繰越金

※年間の収支を記入してください（昨年4.1～今年3.31）

希望する支援や要望 事項※	大学に対する支援や要望	・ BOX棟3階和室のエアコン設置 夏季の熱中症予防のため
	学外の団体等への要望	・ 楽器の購入やメンテナンスの支援制度 ・ 島根県民会館の使用料の補助と予約の優遇 金銭面の工面に加えて、1年以上前の予約 は、学生にとって困難であり、ホールにおけ る演奏経験が得られないため

※経済的支援だけでなく施設利用などの要望でも構いません。なお要望には具体的な理由もお書きください。